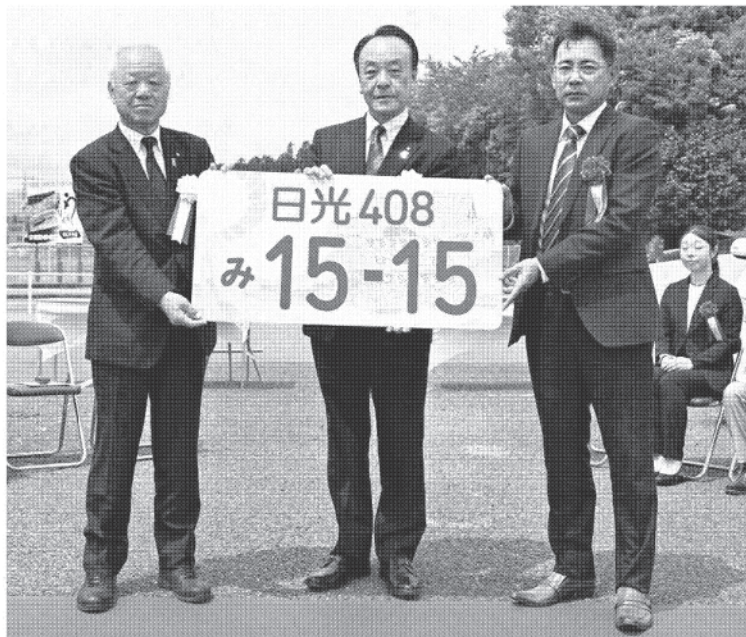


日光ナンバー「門出」

記念式典 2市町関係者祝う



図柄入りナンバーを受け取る関教育長（中央）と
塩谷町の見形町長（左） 15日午前、日光市豊田

図柄入りご当地ナンバープレート「日光ナンバー」の交付開始を記念するセレカレ、導入地域となる同市

設 問

【1】この記事を読んだ光子さんは、日光ナンバーについて以下のようにまとめました。(①)～(⑨)に入る言葉や数字を、記事から選んで書きましょう。

ご当地ナンバープレート「日光ナンバー」について

【導入地域】(①)市・(②)町

【交付開始】令和7年5月(③)日

【デザインのテーマ】(④)と伝統

【デザインのモチーフ】日光市…日光東照宮の(⑤)
塩谷町…しめ縄・(⑥)

【ご当地ナンバーの効果】(⑦)客が増えることによる(⑧)効果
日光市・塩谷町の(⑨)アップ

【2】あなたが住んでいる市町のナンバープレートをデザインしてみましょう。何をモチーフにしたのかも書きましょう。

〇〇 408

み 15-15

と塩谷町、観光商工関係者ら約50人が「門出」を祝った。県内のご当地ナンバーとしては2006年の「那須」以来。
7日に交付が始まった日光ナンバーは「歴史と伝統」

と塩谷町、観光商工関係者ら約50人が「門出」を祝った。県内のご当地ナンバーとしては2006年の「那須」以来。
7日に交付が始まった日光ナンバーは「歴史と伝統」

がテーマ。日光東照宮の陽明門、同町の伝統産業であるしめ縄や尚仁沢湧水が図柄としてデザインされた。パターンはカラーとモノトーンのほかに無地版もある。4月末時点で申請は228件だった。
セレモニー会場には、図柄入りナンバーを装着したバスやタクシー、トラック、公用車が展示された。
同市の関孝和(せいたかかず)教育長が出席し、「塩谷町の協力で長

年の悲願だった導入が実現した。観光誘客による経済効果、両市町の知名度アップに期待している」と市長あいさつを代読。同町の見形和久(わづく)町長も「ナンバープレートは走る広告塔と言われる」と期待を寄せた。
図柄をデザインした宇都宮市の会社員小林千晶(ちあき)さん(38)に記念のプレートが贈られた。
(文・写真 穴原功郎(こうらう))